

項目	概要
日時	2022年6月6日(月) 11:00~12:00
場所	Web会議によるオンライン開催 (Zoom)
議事次第	(1)開会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶 (2)技術分科会活動方針報告 ・自律性ワーキンググループ 岩田 WG 長、KDDI 大谷様、NEC 黒田様  ご発表 ・高周波ワーキンググループ 寶迫 WG 長  ご発表 (3)今後の会合開催日程 (4)閉会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶
参加者数	約 120 名

以下、議事要旨。

(1)開会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶

・皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

国際委員会を開催いたします。国際委員会では6G FlagshipのMOUに続き、今後も志を同じくする団体と連携していく方針であります。6G FlagshipとのMOU締結後に行われたフィンランドとのセミナーでは、サンナ・マリン首相にもご参加いただきました。このイベントでは、最初に東京大学の藤井総長にご挨拶いただき、さらに、有識者7名のパネリストをお招きして、具体的な連携についてディスカッションを行いました。また、最近では6G-IA、Next G AllianceともMOUを締結いたしました。こうした形で6Gに向けて、日本が海外と連携していくという活動が活発になっています。このように、国際委員会では国際連携というところに非常に力を入れている次第です。

先日は、豊島WG長に取り仕切っていただき、スケーラビリティWGの発表をしていただきました。今回は、寶迫WG長に高周波WGの、岩田WG長に自律性WGの活動方針の報告お願いしております。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

(2)技術分科会活動方針報告(自律性WG及び高周波WG)について発表が行われた。

(3)今後の会合開催日程について発表が行われた。

(4)閉会 中尾彰宏 国際委員会委員長ご挨拶

・皆さんありがとうございます。

今日は質問時間が限られており、駆け足だったため質問したい方もいらっしまったかと思いますが、ご質問のある方は事務局宛にお寄せください。本日は岩田WG長、KDDI大谷様、NEC黒田様、寶迫WG長に発表いただきました。

ここで皆さんにリマインドとして国際委員会は何を目指しているか確認したいと思います。

1. 国内外の技術の優位性をもった国とのランドスケープの把握

我が国の強いところと、他国の強いところを俯瞰して把握すること

2. 個社の保有技術の周知

政府のチャンネルを通して周知をすること、

国として保有技術を周知することの意義

この2つです。まだ紹介できていないセキュリティ WG、時空間同期 WG については我が国独自の重要な技術です。岩田さんから自律性 WG についての報告がありましたが、我が国の活動は網羅的ではありますが、各技術の活動はまだもう一息足りない状況です。国内技術については KDDI、NEC が持っている技術を発表していただきました。寶迫さんにももっと時間があれば発表いただきたいかったです。今回の発表で多くの個社のお名前をあげていただきました。秋には国際カンファレンスが開催されます。カンファレンスを通じて個社のもっとぎらぎらしたところ、保有技術を周知し、連携パートナーを見つけることを目指したいと考えております。

国際委員会が目指している2つの事項にご賛同いただける場合はそれぞれ WG 長にコンタクトしていただき国際連携の糧にしていいただければ幸いです。

簡単ではありますが、閉会の挨拶とさせていただきます。

以上